

第3章 新入生および保護者対象調査の結果報告

—奨学金・学生寮に関する集計結果—

(1) 問題・目的

本章では、新入生および保護者を対象とした調査の中から、奨学金制度および学生寮に関する調査項目を取り上げ、それぞれの現状を明らかにし、昨年度の結果と比較して、今後の課題や展開を示唆することを目的とする。具体的には、以下の2点について明らかにする。

1. 新入生のうち、どのような学生が奨学金を認知しているのか、奨学金の受給経験があるのか、学生寮を認知しているのかを明らかにし、本学の奨学金制度および学生寮の今後の課題や展開を示唆する。
2. 保護者のうち、どのような保護者が奨学金を希望しているのか、学生寮への入寮を希望しているのかを明らかにし、本学の奨学金制度および学生寮の今後の課題や展開を示唆する。

(2) 方法

調査対象者、調査時期、質問項目については、調査の概要に記載されているため省略する。

(3) 奨学金に関する結果

① 新入生の結果

どのような学生が、奨学金について認知しているのかを明らかにするため、「奨学金の認知」×「奨学金の受給経験」、「兄弟姉妹の人数」、「学生寮の認知」のクロス表を作成した。「奨学金の認知」、「学生寮の認知」は、それぞれの選択肢の中で、一つでも認知していれば「知っている」とした。結果を表1-1～1-3に示す。

表 1-1 奨学金受給経験 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
奨学金受給経験	あり	度数	35	3	38
		総和の%	92.1%	7.9%	100.0%
	なし	度数	240	179	419
		総和の%	57.3%	42.7%	100.0%
合計		度数	275	182	457
		総和の%	60.2%	39.8%	100.0%

奨学金受給経験と奨学金認知との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 1-2 兄弟姉妹人数 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
兄弟姉妹の人数	1人	度数	42	18	60
		総和の%	70.0%	30.0%	100.0%
	2人	度数	169	91	260
		総和の%	65.0%	35.0%	100.0%
	3人以上	度数	64	35	99
		総和の%	64.6%	35.4%	100.0%
	不明	度数	0	38	38
		総和の%	0.0%	100.0%	100.0%
合計		度数	275	182	457
		総和の%	60.2%	39.8%	100.0%

兄弟姉妹人数と奨学金認知との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 1-3 学生寮認知 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
学生寮認知	知らない	度数	45	107	152
		総和の%	29.6%	70.4%	100.0%
	知っている	度数	230	75	305
		総和の%	75.4%	24.6%	100.0%
合計		度数	275	182	457
		総和の%	60.2%	39.8%	100.0%

学生寮について認知している場合には、奨学金についても認知している割合が高いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

また、どのような学生が、奨学金の受給経験があるのかを明らかにするため、「奨学金の受給経験」×「兄弟姉妹の人数」、「学生寮に対する認知」のクロス表を作成した。それぞれの結果を表 1-4~1-5 に示す。

表 1-4 兄弟姉妹人数 と 奨学金受給経験 のクロス表

			奨学金受給経験		合計
			経験あり	経験なし	
兄弟姉妹の人数	1人	度数	9	51	60
		総和の%	15.0%	85.0%	100.0%
	2人	度数	21	239	260
		総和の%	8.1%	91.9%	100.0%
	3人以上	度数	8	91	99
		総和の%	8.1%	91.9%	100.0%
	不明	度数	0	38	38
		総和の%	0.0%	100.0%	100.0%
合計		度数	38	419	457
		総和の%	8.3%	91.7%	100.0%

兄弟姉妹人数と奨学金受給経験との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 1-5 学生寮認知 と 奨学金受給経験 のクロス表

			奨学金受給経験		合計
			経験あり	経験なし	
学生寮認知	知らない	度数	7	145	152
		総和の%	4.6%	95.4%	100.0%
	知っている	度数	31	274	305
		総和の%	10.2%	89.8%	100.0%
合計		度数	38	419	457
		総和の%	8.3%	91.7%	100.0%

学生寮認知と奨学金受給経験との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

② 保護者の結果

どのような保護者が、子どもの奨学金を希望しているか明らかにするため、「奨学金希望」×「奨学金の受給経験」、「奨学金の認知」、「学生寮に対する認知」、「世帯年収」、「家計支持者の年収」、「父親の就労形態」、「母親の就労形態」、「家計支持者の属性」、「入学後の暮らし向き」のクロス表を作成した。それぞれの結果を表 2-1～2-9 に示す。

表 2-1 奨学金受給経験 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
奨学金受給経験	経験なし	度数	272	151	423
		総和の%	64.3%	35.7%	100.00%
	経験あり	度数	4	30	34
		総和の%	11.8%	88.2%	100.00%
合計		度数	276	181	457
		総和の%	60.4%	39.6%	100.00%

過去に奨学金の受給経験がある場合、奨学金の希望が多いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表 2-2 奨学金認知 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
奨学金認知	知らない	度数	124	5	129
		総和の%	96.1%	3.9%	100.0%
	知っている	度数	152	176	328
		総和の%	46.3%	53.7%	100.0%
合計		度数	276	181	457
		総和の%	60.4%	39.6%	100.0%

奨学金認知と奨学金希望との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 2-3 学生寮認知 と 奨学金希望群 のクロス表

		奨学金希望群		合計	
		希望しない	希望する		
学生寮認知	知らない	度数	150	53	203
		総和の%	73.9%	26.1%	100.0%
	知っている	度数	126	128	254
		総和の%	49.6%	50.4%	100.0%
合計		度数	276	181	457
		総和の%	60.4%	39.6%	100.0%

学生寮認知と奨学金希望の間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年と同様の結果であった。

表 2-4 「世帯年収」、表 2-5 「家計支持者の年収」については、1400 万円以上の選択肢を合算してクロス表を作成した。

表 2-4 世帯年収 と 奨学金希望群 のクロス表

		奨学金希望群		合計	
		希望しない	希望する		
世帯年収	400万円未満	度数	5	26	31
		総和の%	16.1%	83.9%	100.0%
	400万円以上600万円未満	度数	7	32	39
		総和の%	17.9%	82.1%	100.0%
	600万円以上800万円未満	度数	25	44	69
		総和の%	36.2%	63.8%	100.0%
	800万円以上1000万円未満	度数	58	34	92
		総和の%	63.0%	37.0%	100.0%
	1000万円以上1200万円未満	度数	63	27	90
		総和の%	70.0%	30.0%	100.0%
	1200万円以上1400万円未満	度数	28	9	37
		総和の%	75.7%	24.3%	100.0%
	1400万円以上	度数	48	8	56
		総和の%	85.7%	14.3%	100.0%
不明	度数	6	1	7	
	総和の%	85.7%	14.3%	100.0%	
合計		度数	240	181	421
		総和の%	57.0%	43.0%	100.0%

世帯年収が低い場合は、奨学金の希望が多く、世帯年収が高い場合は、奨学金の希望は少ないことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表 2-5 家計支持者の年収 と 奨学金希望群 のクロス表

		奨学金希望群		合計	
		希望しない	希望する		
家計支持者の 年収	400万円未満	度数	9	36	45
		総和の%	20.0%	80.0%	100.0%
	400万円以上600万円未満	度数	14	37	51
		総和の%	27.5%	72.5%	100.0%
	600万円以上800万円未満	度数	45	49	94
		総和の%	47.9%	52.1%	100.0%
	800万円以上1000万円未満	度数	64	31	95
		総和の%	67.4%	32.6%	100.0%
	1000万円以上1200万円未満	度数	53	20	73
		総和の%	72.6%	27.4%	100.0%
	1200万円以上1400万円未満	度数	19	4	23
		総和の%	82.6%	17.4%	100.0%
	1400万円以上	度数	31	2	33
		総和の%	93.9%	6.1%	100.0%
不明	度数	5	2	7	
	総和の%	71.4%	28.6%	100.0%	
合計		度数	240	181	421
		総和の%	57.0%	43.0%	100.0%

家計支持者の世帯年収が低い場合は、奨学金の希望が多く、世帯年収が高い場合は、奨学金の希望は少ないことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表 2-6 父親の就労形態 と 奨学金希望群 のクロス表

		奨学金希望群		合計	
		希望しない	希望する		
父親の 就労形態	フルタイム勤務	度数	223	139	362
		総和の%	61.6%	38.4%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	2	5	7
		総和の%	28.6%	71.4%	100.0%
	自 営	度数	8	20	28
		総和の%	28.6%	71.4%	100.0%
	無 職	度数	3	3	6
		総和の%	50.0%	50.0%	100.0%
	いない	度数	3	12	15
		総和の%	20.0%	80.0%	100.0%
	不 明	度数	1	2	3
		総和の%	33.3%	66.7%	100.0%
合計		度数	240	181	421
		総和の%	57.0%	43.0%	100.0%

父親の就労形態がフルタイム勤務である場合、奨学金の希望は少なく、パートタイム勤務である場合、奨学金の希望が多いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表 2-7 母親の就労形態 と 奨学金希望群 のクロス表

		奨学金希望群		合計	
		希望しない	希望する		
母親の 就労形態	フルタイム勤務	度数	56	58	114
		総和の%	49.1%	50.9%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	91	60	151
		総和の%	60.3%	39.7%	100.0%
	自 営	度数	6	10	16
		総和の%	37.5%	62.5%	100.0%
	無 職	度数	81	47	128
		総和の%	63.3%	36.7%	100.0%
	いない	度数	4	2	6
		総和の%	66.7%	33.3%	100.0%
	不 明	度数	2	4	6
		総和の%	33.3%	66.7%	100.0%
合計		度数	240	181	421
		総和の%	57.0%	43.0%	100.0%

母親の就労形態と奨学金の希望との間には有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 2-8 家計支持者 と 奨学金希望群 のクロス表

		奨学金希望群		合計	
		希望しない	希望する		
家計支持者	父親	度数	226	154	380
		総和の%	59.5%	40.5%	100.0%
	母親	度数	7	24	31
		総和の%	22.6%	77.4%	100.0%
	本人	度数	6	3	9
		総和の%	66.7%	33.3%	100.0%
合計		度数	239	181	420
		総和の%	56.9%	43.1%	100.0%

家計支持者が母親の場合、奨学金を希望する割合が高いことが示された。昨年度は、家計支持者が母親の場合、奨学金の希望で有意な関連は見られなかった。

「入学後の暮らし向き」について、「ゆとりがない」「あまりゆとりがない」の選択肢を「ゆとりがない」にまとめ、「ゆとりがある」「多少ゆとりがある」の選択肢を「ゆとりがある」にまとめて、クロス表を作成した。

表 2-9 入学後の暮らし向き と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
入学後の 暮らし向き	ゆとりがない	度数	96	161	257
		総和の%	37.4%	62.6%	100.0%
	ゆとりがある	度数	137	20	157
		総和の%	87.3%	12.7%	100.0%
	不明	度数	43	0	43
		総和の%	100.0%	0.0%	100.0%
合計		度数	276	181	457
		総和の%	60.4%	39.6%	100.0%

入学後の暮らしにゆとりがないと感じている場合には、奨学金を希望する割合が高いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

(4) 学生寮に関する結果

① 新入生の結果

どのような学生が、学生寮を知っているのかを明らかにするため、「学生寮の認知」×「奨学金の受給経験」、「兄弟の人数」のクロス表を作成した。「学生寮の認知」は、選択肢の中で一つでも認知していれば「知っている」とした。それぞれの結果を表 3-1、3-2 に示す。

表 3-1 奨学金受給経験 と 学生寮認知 のクロス表

			学生寮認知		合計
			知らない	知っている	
奨学金受給経験	経験なし	度数	145	274	419
		総和の%	34.6%	65.4%	100.0%
	経験あり	度数	7	31	38
		総和の%	18.4%	81.6%	100.0%
合計		度数	152	305	457
		総和の%	33.3%	66.7%	100.0%

過去の奨学金の受給経験と学生寮の認知について、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 3-2 兄弟姉妹人数 と 学生寮認知 のクロス表

			学生寮認知		合計
			知らない	知っている	
兄弟姉妹の人数	1人	度数	14	46	60
		総和の%	23.3%	76.7%	100.0%
	2人	度数	75	185	260
		総和の%	28.8%	71.2%	100.0%
	3人以上	度数	25	74	99
		総和の%	25.3%	74.7%	100.0%
	不明	度数	38	0	38
		総和の%	100.0%	0.0%	100.0%
合計		度数	152	305	457
		総和の%	33.3%	66.7%	100.0%

兄弟姉妹の人数と学生寮の認知との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

②保護者の結果

どのような保護者が、子ども学生寮への入寮を希望しているかを明らかにするため、「学生寮の入寮希望」×「奨学金の受給経験」、「奨学金の認知」、「学生寮に対する認知」、「世帯年収」、「家計支持者の年収」、「父親の就労形態」、「母親の就労形態」、「家計支持者の属性」、「入学後の暮らし向き」のクロス表を作成した。それぞれの結果を表4-1～4-9に示す。

表4-1 奨学金受給経験と学生寮希望のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
奨学金受給経験	経験なし	度数	306	81	387
		総和の%	79.1%	20.9%	100.0%
	経験あり	度数	22	12	34
		総和の%	64.7%	35.3%	100.0%
合計		度数	328	93	421
		総和の%	77.9%	22.1%	100.0%

過去の奨学金の受給経験と学生寮の希望について、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表4-2 奨学金認知と学生寮希望のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
奨学金認知	知らない	度数	82	11	93
		総和の%	88.2%	11.8%	100.0%
	知っている	度数	246	82	328
		総和の%	75.0%	25.0%	100.0%
合計		度数	328	93	421
		総和の%	77.9%	22.1%	100.0%

奨学金の認知と学生寮の希望について、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表4-3 学生寮認知と学生寮希望のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
学生寮認知	知らない	度数	165	2	167
		総和の%	98.8%	1.2%	100.0%
	知っている	度数	163	91	254
		総和の%	64.2%	35.8%	100.0%
合計		度数	328	93	421
		総和の%	77.9%	22.1%	100.0%

学生寮の認知と学生寮の希望について、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 4-4 世帯年収 と 学生寮希望 のクロス表

		学生寮希望		合計	
		希望しない	希望する		
世帯年収	400万円未満	度数	20	11	31
		総和の%	64.5%	35.5%	100.0%
	400万円以上600万円未満	度数	24	15	39
		総和の%	61.5%	38.5%	100.0%
	600万円以上800万円未満	度数	45	24	69
		総和の%	65.2%	34.8%	100.0%
	800万円以上1000万円未満	度数	76	16	92
		総和の%	82.6%	17.4%	100.0%
	1000万円以上1200万円未満	度数	72	18	90
		総和の%	80.0%	20.0%	100.0%
	1200万円以上1400万円未満	度数	32	5	37
		総和の%	86.5%	13.5%	100.0%
	1400万円以上	度数	53	3	56
		総和の%	94.6%	5.4%	100.0%
不明	度数	6	1	7	
	総和の%	85.7%	14.3%	100.0%	
合計		度数	328	93	421
		総和の%	77.9%	22.1%	100.0%

世帯年収が低い場合は、学生寮への入寮の希望が多く、世帯年収が高い場合は、学生寮への入寮の希望が少ないことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表 4-5 家計支持者の年収 と 学生寮希望 のクロス表

		学生寮希望		合計	
		希望しない	希望する		
家計支持者の 年収	400万円未満	度数	29	16	45
		総和の%	64.4%	35.6%	100.0%
	400万円以上600万円未満	度数	32	19	51
		総和の%	62.7%	37.3%	100.0%
	600万円以上800万円未満	度数	67	27	94
		総和の%	71.3%	28.7%	100.0%
	800万円以上1000万円未満	度数	80	15	95
		総和の%	84.2%	15.8%	100.0%
	1000万円以上1200万円未満	度数	61	12	73
		総和の%	83.6%	16.4%	100.0%
	1200万円以上1400万円未満	度数	22	1	23
		総和の%	95.7%	4.3%	100.0%
	1400万円以上	度数	31	2	33
		総和の%	93.9%	6.1%	100.0%
不明	度数	6	1	7	
	総和の%	85.7%	14.3%	100.0%	
合計		度数	328	93	421
		総和の%	77.9%	22.1%	100.0%

家計支持者の年収が低い場合は、学生寮への入寮の希望が多く、家計支持者の年収が高い場合は、学生寮への入寮の希望が低いことが示された、これは昨年度と同様の結果であった。

表 4-6 父親の就労形態 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
父親の 就労形態	フルタイム勤務	度数	290	72	362
		総和の%	80.1%	19.9%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	3	4	7
		総和の%	42.9%	57.1%	100.0%
	自 営	度数	19	9	28
		総和の%	67.9%	32.1%	100.0%
	無 職	度数	2	4	6
		総和の%	33.3%	66.7%	100.0%
	いない	度数	11	4	15
		総和の%	73.3%	26.7%	100.0%
	不 明	度数	3	0	3
		総和の%	100.0%	0.0%	100.0%
合計		度数	328	93	421
		総和の%	77.9%	22.1%	100.0%

父親の就労形態と奨学金の希望との間には有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 4-7 母親の就労形態 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
母親の 就労形態	フルタイム勤務	度数	85	29	114
		総和の%	74.6%	25.4%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	120	31	151
		総和の%	79.5%	20.5%	100.0%
	自 営	度数	13	3	16
		総和の%	81.3%	18.8%	100.0%
	無 職	度数	100	28	128
		総和の%	78.1%	21.9%	100.0%
	いない	度数	5	1	6
		総和の%	83.3%	16.7%	100.0%
	不 明	度数	5	1	6
		総和の%	83.3%	16.7%	100.0%
合計		度数	328	93	421
		総和の%	77.9%	22.1%	100.0%

母親の就労形態と奨学金の希望との間には有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 4-8 家計支持者 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
家計支持者	父親	度数	302	78	380
		総和の%	79.5%	20.5%	100.0%
	母親	度数	18	13	31
		総和の%	58.1%	41.9%	100.0%
	その他	度数	7	2	9
		総和の%	77.8%	22.2%	100.0%
合計		度数	327	93	420
		総和の%	77.9%	22.1%	100.0%

家計支持者と学生寮への入寮希望との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 4-9 入学後の暮らし向き と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
入学後の暮らし向き	ゆとりがない	度数	146	11	157
		総和の%	93.0%	7.0%	100.0%
	ゆとりがある	度数	175	82	257
		総和の%	68.1%	31.9%	100.0%
	不明	度数	7	0	7
		総和の%	100.0%	0.0%	100.0%
合計		度数	328	93	421
		総和の%	77.9%	22.1%	100.0%

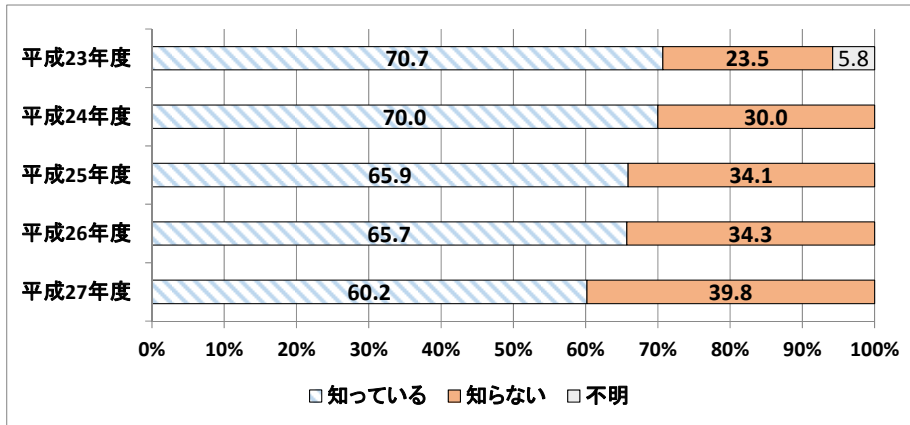
入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている場合、学生寮の希望が少なく、ゆとりがあると感じている場合、希望が多いことが示された。昨年度はゆとりがないと感じている場合、学生寮を希望する割合は高かったが、今年度は異なる結果が示された。

(5) 奨学金と学生寮について、過年度との比較

新入生の奨学金認知、奨学金受給経験、学生寮認知について、過去4年間の結果と比較をした結果を、図表 5-1～5-3 に示す。また、保護者の奨学金認知、奨学金希望、学生寮認知、学生寮希望についても同様に比較し、図表 5-4～5-7 に示す。

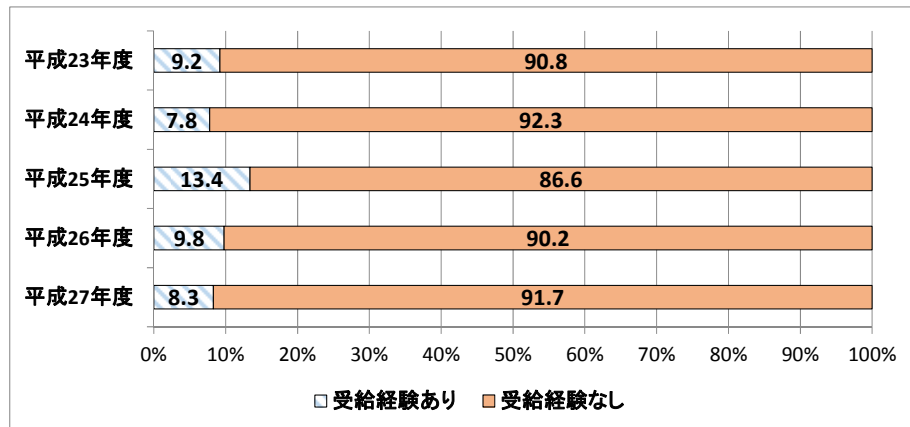
① 新入生の結果

「奨学金認知」の割合は、「知っている」60.2%、「知らない」39.8%となっており、昨年度の「知っている」65.7%、「知らない」34.3%と比べて、認知の割合は5ポイント減少している。平成23年度以降と比べて、徐々に認知の割合が減少していることが示されている。



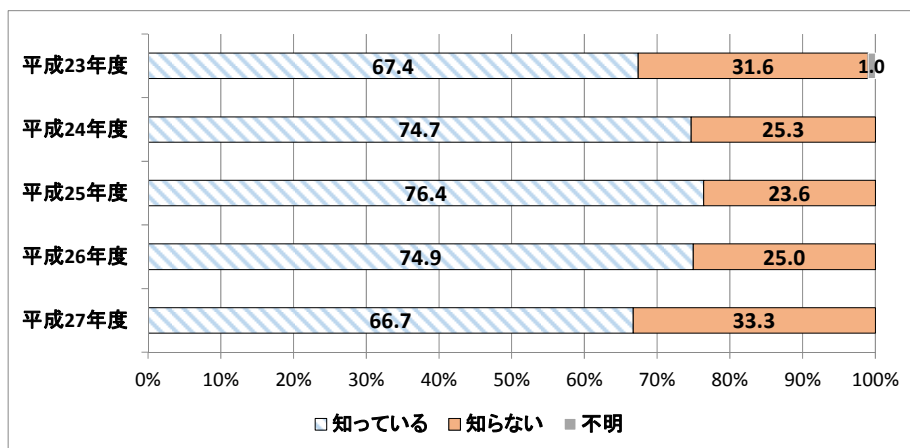
図表 5-1 新入生の奨学金認知の比較

「奨学金受給経験」の割合は、「経験あり」8.3%、「経験なし」91.7%となっており、昨年度の「経験あり」9.8%、「経験なし」90.2%と比べて、大きな変化はなかった。



図表 5-2 新入生の奨学金受給経験の比較

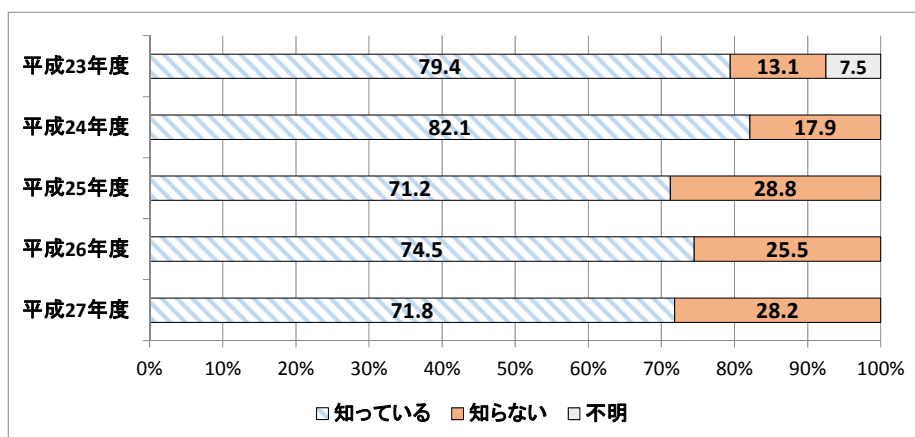
「学生寮認知」の割合は、「知っている」66.7%、「知らない」33.3%となっており、昨年度の「知っている」74.9%、「知らない」25.1%と比べて、認知の割合は8.2ポイント減少している。今年度は平成23年度以来はじめて、学生寮の認知の割合が70%を下回っていることが示された。



図表 5-3 新入生の学生寮認知の比較

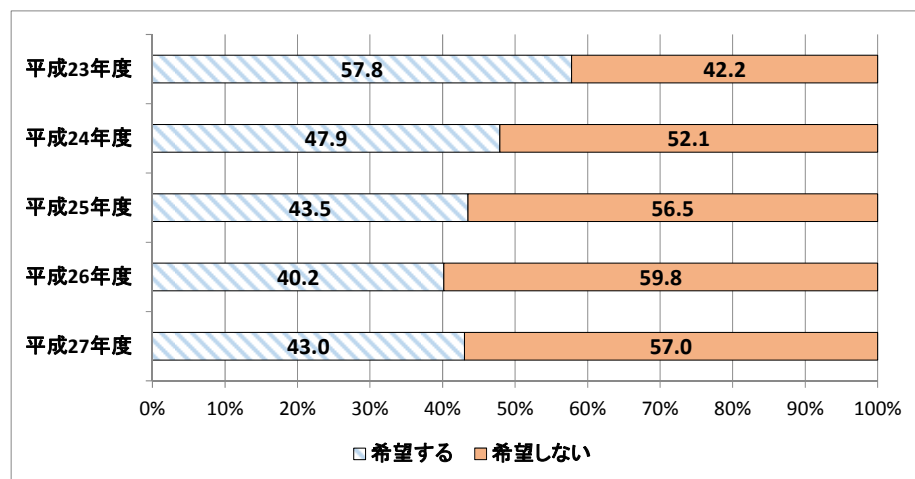
② 保護者の結果

「奨学金認知」の割合は、「知っている」71.8%、「知らない」28.2%となっており、昨年度の「知っている」74.5%、「知らない」25.5%と比べて、認知の割合が2.7%減少していることが示された。昨年度と比べて大きな変化は見られなかった。



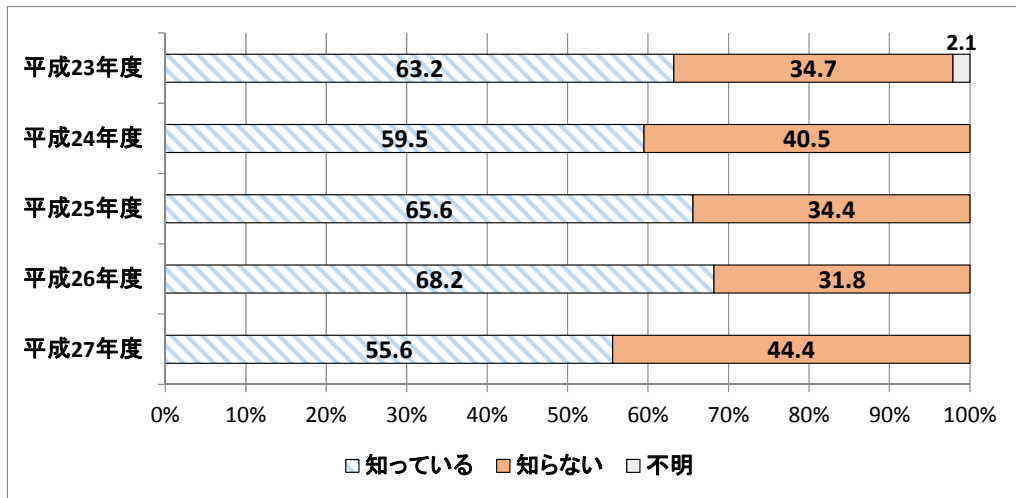
図表 5-4 保護者の奨学金認知の比較

「奨学金希望」の割合は、「希望する」43.0%、「希望しない」57.0%となっており、昨年度の「希望する」40.2%、「希望しない」59.8%と比べて、希望の割合は3ポイント増加していることが示された。



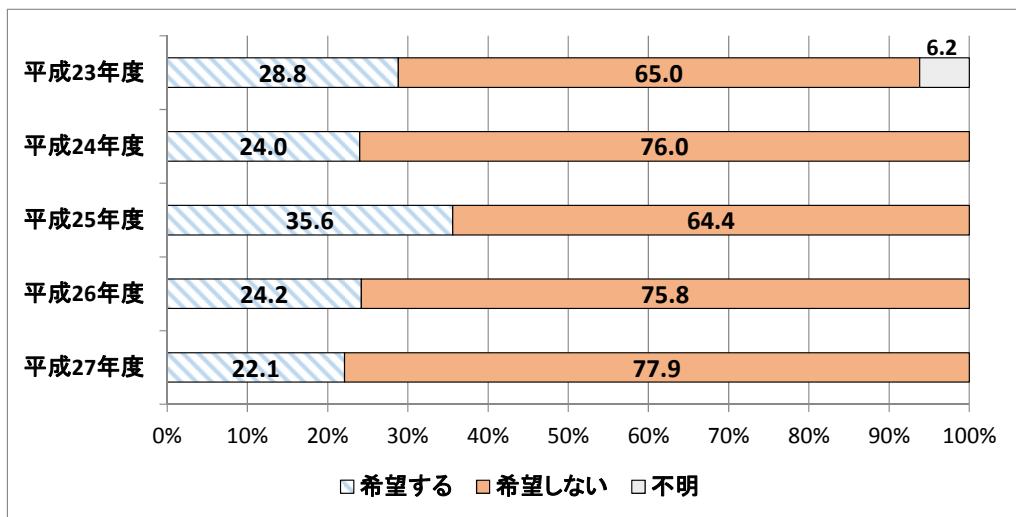
図表 5-5 保護者の奨学金希望の比較

「学生寮認知」の割合は、「知っている」55.6%、「知らない」44.4%となっており、昨年度の「知っている」68.2%、「知らない」31.8%と比べて、認知の割合が12.6ポイント減少していることが示された。過去5年間の中でも、低い結果となった。



図表 5-6 保護者の学生寮認知の比較

「学生寮希望」の割合は、「希望する」22.1%、「希望しない」77.9%となっており、昨年度の「希望する」24.2%、「希望しない」75.8%と比べて、希望の割合は2.1ポイント減少していることが示された。昨年度と比べて大きな変化は見られなかった。



図表 5-7 保護者の学生寮希望の比較